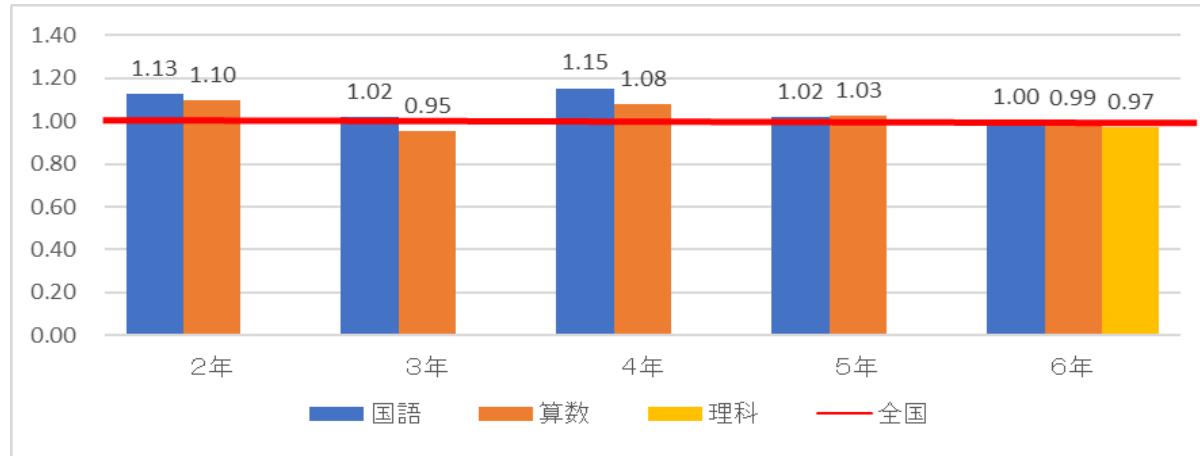


令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第五中学校区 神田小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習 到達度調査	国語	「話すこと・聞くこと」「書くこと」について、全学年で全国値を上回る結果であった。引き続き自分の考えを伝え合う活動を充実させ、相手の考えを聴き、対話できるようにしていく。
	算数	全領域、また活用問題において全国値を上回る学年が多くかった。今後も、問題の意図を正しくとらえ、「目的や意図に応じて説明する力」を育成していく。
全国学力・ 学習状況調査	国語	「話し手の考え方と比較しながら、自分の考え方をまとめる」設問において、全国値を上回る結果であった。引き続き、「対話の素地を養う言語活動」を取り組んでいく。
	算数	理由や求め方を「数や言葉を用いて記述する」複数の設問が全国値を上回った。今後も、図と式を結びつけ、言葉で理由付けながら説明することを大切にした学習活動を行っていく。
	理科	「解決するための方法が適切であったかを検討、表現する」設問において、全国値を大きく上回る結果であった。今後もまとめを導き出す際に比較、検討することを意識した指導を行っていく。
	質問紙	「目的に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いている」児童の割合が全国値を上回った。今後も、自分の意見を伝え合う力の育成を図っていく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

中学校区3校教職員で構成する小中一貫推進部会・8部会を定期的に開催し、各校の取組や進捗状況、学力調査の結果分析や課題の共有等を行っている。さらに、ディベート教育や「考える力」育成に向けた合同研修会・授業公開を開催し、同じ方向性のもと、取組を推進している。

【 学 校 】

研究テーマである「互いの意図に応じて話を聴き合い、自分の意見を伝え合う力」を育成するため、話し手だけでなく聞き手の主体的な態度を育てるとともに、ディベート教育を進めることで「考える力」の育成を図っていく。